

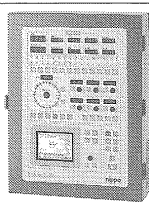
環境管理 統合制御 ハウスナビ・アドバンス

ニッポー

ハウス環境管理を効率化

(株)ニッポー(若槻憲一社長・埼玉県川口市川口2の13の20)の統合環境制御盤「ハウスナビ・アドバンス」は、パソコンを使わず簡単設定でハウス内の統合環境制御がで

ハウスナビ・アドバンス
④とアイファーム・クラウドのイメージ⑤



き、ハウス環境管理の効率化・省力化につながる」と注目されている。統合環境制御とは、ハウス内の温度・湿度・水・CO₂・日射など植物の生育に必要な要素を統合的に管理すること。同一機は、今まで個別に動いていた換気・暖房・カーテン・炭酸ガス施用など

を相互に連携させ、無駄がなくバランスの取れた環境作りを行うことで収量・品質のアップを目指すことができる。ハウス内外に設置した温度・湿度・CO₂・土壌水分・日射・雨などのセンサーで計測したデータをもとに自動で制御し、パソコ

ンとつないで環境データを収集し、数値、グラフ化して見ることができ。また、クラウドサーバー「アイファームクラウド」を利用することで、いつでもどこからでも携帯端末機器を使いハウスの状況管理ができるともに、ハウスに設置された機器の遠隔操作が可能となるため、ハウスに行く時間や手間が大幅に削減できる。

〈主な特徴〉

▽タッチキーとツマミで操作が簡単
本体の設定は全て制御盤のタッチキーとツマミで調整可能。操作パネルでハウスの様子を確認できる。
▽過去のデータをワンタッチでグラフ表示
環境データグラフ(温度・湿度・飽差・炭酸ガス等)の温度制御データグラフ、飽差制御データグラフの過去30日分をワンタッチで確認可能。
▽日本の環境で使いやすい機器
日本の低軒高ハウスは湿度管理が難しく、特に高湿度になる土耕栽培では病気の発生が懸念される。植物のストレスを与えないようにゆっくり湿度を逃がす「スカシ換気機能」など、日本の気候に合ったオリジナル機能を開発し組み込むことで作物のストレスを軽減、病気を予防につなげることができる。
▽「労力削減」
ハウス内を自動で環境制御し、外気温や天候を見て、自動で判断・制御。気温が下がったり雨が降れば自動

で窓を閉める。また、外出先や離れた圃場でも、スマートフォンなどを使ってハウス内の状況を取りアルタイムで確認することができるとなど。

同機に関する問い合わせは同社お客様相談窓口 ☎0120・963・1606まで。